

記載例

第7号様式（第16条関係）（日本産業規格A列4番）

運航管理者資格者証交付申請書

近畿運輸局長 殿

書類を記載した日
を記載

令和○年 ○ 月 ○ 日

1. 申請者

姓（ふりがな） <input type="checkbox"/> 旧姓の併記を希望	近畿（きんき） 旧姓：（ ）
名（ふりがな）	太郎（たろう）
生年月日	平成○年○月○日
郵便番号	〒0000—1234
住 所	大阪市中央区○○2-2-1
電話番号	000（123）4567

1,700円の収入
印紙を貼付する。

収 入

印 紙

資格者証の交付を受ける者の

住民票（個人番号カード）の住所、
日中連絡のつきやすい電話番号
（携帯でも可）を記載。

※ 資格者証に旧姓の併記を希望する場合は、☐にチェックを入れること。 合格した試験の

2. 試験情報

試験の区分	①	総合運航管理者試験
	②	大型船舶運航管理者試験
	③	小型船舶運航管理者試験

区分を○で囲む。

※ 試験の区分の欄は、該当する番号を○で囲むこと。

資格者証を受領しました。 受領者サイン_____（申請時には記入しないこと。）

ここは何も書かないこと。

記載例

運航管理者実務経験証明書

次の者は当社の社員であり、かつ、海上運送法における運航管理者の要件に関し、船舶の運航に関する実務の経験を有する者であることを証します。

該当する区分に○をつける。

住 所 大阪市中央区▲ 2－1
氏名又は名称 ○○△△ 株式会社
代 表 者 名 代表取締役 大阪 太郎

氏名： 近畿 太郎

社内での役職： 運航管理部 係長

申請者の勤務先の会社が記載してください。

上記の者は、以下の実務経験を有します（※該当するものに○をつける）

船舶運航事業又は内航海運業	
○	船長又は甲板部の職員としての業務に1年以上（貨物船にあっては2年以上）従事した経験
	機関部又は無線部の職員としての業務に2年以上（貨物船にあっては3年以上）従事した経験
○	運航管理者又は運航管理補助者としての業務その他の船舶の運航管理に関する業務（令和8年度以前の経験を含む。）に1年以上従事した経験
船舶運航事業及び内航海運業以外（遊漁船業等）	
	船長（自家用船を除く。）としての業務に3年以上従事した経験 （小型船舶運航管理者資格者証に限る。）

実務経験の内容：

船舶の職員としての業務の場合は、該当する職務に就いていたことがわかる船員手帳のページの写しを添付すること。

部署	主な業務	在職期間
○○丸（貨物船）	二等航海士	H20.4～H25.3
△△号（旅客船）	船長	H25.4～H30.3
運航管理部	運航管理補助者	H30.4～現在
		～
		～

記載例

資格者証の交付を受ける者の住所（住民票）等を記入。

令和〇年〇月〇日

宣誓書

記入した日を記載。

近畿運輸局長 殿

住 所 大阪市中央区〇〇2-2-1
氏 名 近畿 太郎
生年月日 平成〇年〇月〇日

私は、海上運送法第32条の8各号のいずれにも該当しないことを宣誓します。

海上運送法

（運航管理者資格者証の交付を行わない場合）

第三十二条の八 国土交通大臣は、前条第一項の規定にかかわらず、次の各号のいずれかに該当する者に対しては、総合運航管理者資格者証、大型船舶運航管理者資格者証又は小型船舶運航管理者資格者証（以下「運航管理者資格者証」という。）の交付を行わない。

- 一 第三十二条の四第一号（十八歳に満たない者）又は第三号（この法律若しくはこの法律に基づく命令又はこれらに基づく処分に違反し、罰金以上の刑に処せられ、その執行を終わり、又は執行を受けることがなくなつた日から五年を経過しない者）に掲げる者
- 二 第三十二条の十の規定により運航管理者資格者証の返納を命ぜられ、その日から五年を経過しない者